



# ごみ減量成果は5,307トン 1億3,300万円分を節約

蒲郡市では「ごみ出す前 分けて資源化 ごみ減量」をキャッチフレーズに、みなさんのご協力で、ごみの減量と資源化に取り組んでいます。

平成6年度の実績は、5年度より596トン多く回収でき、全体でごみの量が5,307トン減ったことになり、1億3,300万円分の節約ができました。

これは皆さんが、ごみに対して資源化意識を強く持っていただいた結果です。これからも、一人ひとりが限りある資源の有効利用を考え、大切な地球資源を未来にひきつぐよう、ごみの分別収集と再資源化に心がけてください。

## 資源回収団体による回収 (回収実績 4,116,736.9kg)

各小中学校のPTAなどが自主的に実施する資源物回収事業（廃品回収）に対し、平成3年4月から奨励金を交付して、事業の活発化を図っています。各団体の努力で、この事業の実績はたいへん大きいものがありますが、近年、実施時期の重なりなどで回収量が横ばい状態です。時期の調整をして実施に努めてください。

## 分別ステーションでの回収 (回収実績 753,926kg)

平成6年度から、各ステーションの回収を月2回に増やしたので、前年度より2.5倍の回収量がありました。今年度は、いっそうのご協力をいただくため、各ステーションに排出する日を曜日で固定しました。

## くう缶鳥機による回収 (回収実績 122,936kg)

市内3カ所（東部・西部市民センター、市役所）の空き缶自動回収機「くう缶鳥機」による回収量は、3,708,815個で前年より1,424個多く回収でき

ました。自動販売機近くの空き缶かごから持ち出ししたり、もらい受けて、くう缶鳥機に入れる人がいるようですが、自動販売機設置者が責任を持って処理することが義務づけられています。

## ボックスによる回収(回収実績 11,111kg)

市内の公共施設82カ所に缶、びん専用の回収ボックスを常設し、平成6年度の回収量は、前年度の2倍以上あり、街の美化と分別資源化への意識を高めています。

## その他による回収(回収実績 302,403.5kg)

一般および搬入許可業者による事業所のごみ分別搬入、清掃事務所管理施設での資源物抽出回収などによるもの。

## 生ごみの減量

コンポスト（生ごみの堆肥化）のモニターの皆さん（6年度分は20世帯）の家庭から出た堆肥の量は5,341kgでした。また、EMボカシを使って生ごみを堆肥化しているグループ（会員数500名）もあり、皆さんがごみの減量に貢献しています。

その結果、下図に見られるように一般家庭のごみ排出量は少しづつですが減ってきています。

一般家庭からの収集ごみ量推移

